教区新報 HYOGO

'98 RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸（078）341－5949㈹
〔編集〕教区基推委広報部

1996. 5. 101号

4月22日の災害対策委員会

激甚被災組

賦課金減免の継続を申請

教区願記冥加金を除き昨年と同様

阪神・淡路大震災で被災した寺院に対する、平成八年度賦課金、冥加金等の減免措置について四月二十三日、常備会において審議され、議決された。

この常備会に先立ち、四月十一日に災害対策常任委員会、二十二日には災害対策委員会を開催し、「阪神・淡路大震災寺院復興修復計画中間報告」アンケート調査の結果などを踏まえ、被災寺院の状況及び要望を考慮しつつ、一方では教区財源の確保、また震災後一年を過ぎたということもあり、教区の自助努力に務めなければならない状況もあり、全体では昨年と同様の減免とはならなかった。

しかし、激甚被災組においては、教区願記冥加金を除き昨年と同様の減免とすることとなった。

減免についての内容は、本山願記冥加金については被災二百六十七カ寺のうち、二百六十四カ寺（姫路中1、姫路西1、網干1を除く）について減免申請をお願いする。

教区願記冥加金については、基本的に減免をしない。但し、被災による復興のための土地処分等に関わる「財産処分」及び「除却・新築申請」等については免除。

宗派賦課金並びに門徒講金の全額減免申請は二百二十七カ寺。半額減免は四十八カ寺。

教区賦課金減免については、激甚被災組（阪神東25、阪神南18、阪神西21、阪神北19、神戸東30、神戸中29、神戸湊20、神戸西28、淡路9、神明19）の十組二百十八カ寺について基本的に全額減免。但し、被害報告のなかった阪神南組七カ寺と阪神北組二カ寺については半額減免。その他の四十八カ寺（北摂6、神明2、播磨東6、加古川15、高砂16、姫路南3）については減免は行わないとすることが決まった。

救援復興資金貸付申請については、平成八年四月三十日現在五十三カ寺から六億五千百万円が申請されている。

なお、貸付についての申請期日は四月、八月、十二月の末日で、寺院災害共済制度修復資金貸付申請は三月末、九月末が期日となっている。

「土垢」という文字に出遇った。各ご門徒の御文章、各ページの左右の端が汚れ薄くなっている。つまり手垢のことを農山村の生活から土垢と受けとめたところから生まれてきた言葉であろう。念仏者の生活がほのぼのと伝わってくる◆そして「乞士」という言葉も知った。比丘のことである。佛書の中には「乞法」の言葉も出てくる。先の土垢の言葉と重ねてみると、土垢こそ御同朋御同行の乞法のあかしであるといえる◆もう一つ「情報のホスピタリティ（快楽のもてなし）時代」ということも教えられた。今や情報は、テーマ別に細かく、親切に情報を提供してくれる。それを読むことによって自分がいつでも行動的に外へと開かれ、出かけて行けばどのようにもてなしを受けるかを知ることができる。そのような受け身のもてなしから疎外されることを恐れるという◆そこには己が今何を乞うのかということも、そのために何を問うのかなど微塵もない。先人の土垢の姿など今はない。（内田宏圓）

教区だより 5・6月

17日（金）
愛生園・光明園降誕会
21日（火）
スカウトクラブ役員会　6時半
22日（水）
教区基推委総会　10時半
少年連盟役員会　3時半
24日（金）
同兵宗連総会　1時
25日（土）
近畿ブロック保育連盟新任研修・補任式　本山
27日（月）
県教誨師大会　高砂鹿島殿
27日（月）～28日（火）
組長・副組長・組相談員合同一泊研修会　赤穂 銀波荘
29日（水）
寺婦連盟新旧委員総会　10時半
30日（木）
近同推総会　本山
30日（木）～31日（金）
第7回まことの保育セミナー　北海道
31日（金）～6月1日（土）
門徒推進員代表者協議会　本山
1日（土）
第一土曜仏教講座　相羽秋夫師　1時半
2日（日）
江並教堂永代経法要　江並教堂
3日（月）
矯正総会・研修会　3時
5日（水）
門徒総代会評議員総会　10時半
近畿地区仏婦大会打合せ会　和歌山
6日（木）～7日（金）
ビハーラ事務担当者会　本山
10日（月）
社推協旧常任委員、新評議員合同総会　1時半
12日（水）～13日（木）
第8回全国布教使大会　本山
13日（木）～14日（金）
第16回全国園長研修大会　東北
14日（金）
別院永代経開闕法要　1時半
15日（土）～16日（日）
別院永代経法要　藤田真哲師　1時半

6月17日 ビハーラ兵庫

研修会に参加を

ビハーラ兵庫（増井浄見代表）では来る六月十七日（月）別院にて、第四回総会を十時半から、また午後一時から三時まで研修会を開催します。

講師は西光義敞師（真宗カウンセリング代表）でテーマは『育ち合う人間関係』真宗カウンセリングに興味のある方、基礎を学習してみませんか。

どなたでも参加いただけますので、是非ご参加をお待ちしております。詳細についてはビハーラ兵庫事務局（担当安井）まで。

都市開教を希望の方に

振興金庫申込はお早く

例年のとおり、京阪神都市圏における都市開教の促進するため財源対策の一貫として都市開教振興金庫を設け、貸付申込み者を募集いたします。

なお貸付の受付は平成八年四月より五月末日となっておりますので、ご希望の方は教務所内、都市開教兵庫支部までお申込みください。詳しい貸付要項をお送りいたします。

宗教法人法の一部改正に伴う届け出のお願い

平成八年十二月十五日公布の宗教法人法の一部を改正する法律に伴い、公布の日において他の都道府県内において境内建物を備えている寺院については所轄庁を経由して、文部大臣に「境内建物に関する届出」を提出することになりました。

つきましては、宗派においては「宗教法人法の改正に伴う宗務措置に関する宗則」の規定に基づき所轄庁宛届出書類（写し）一部と書類回付願を教務所を経由して宗派へ回付することになりましたので、該当する寺院については六月十五日までに教務所へご連絡願います。

阪神・淡路大震災 義援金

阪神・淡路大震災義援金の教務所へ届けられたもの（3月1日から4月30日まで）を掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

尚、4月30日現在義援金総額九億五百七十七万八百十円をお寄せ頂いております。

▽神崎組真楽寺八千三百五十円▽阪神東組源正寺若婦人会九千円▽福岡教区遠賀組一同三十五万四千円▽東京教区鎌倉組東福寺六十一万六千四百九十三円▽阪神南組西光寺條了存十万円▽阪神南組西光寺仏婦條貞子五万円▽大阪教区河中北組浄福寺三万円▽大阪教区豊島北組仏婦連盟三十万円▽福岡教区鞍手組光福寺大友宗文三万五千円▽赤穂北組西光寺四万二千九百四十六円。

（敬称略・受付順）

納骨所普通も残15基

別院納骨所は既に小型区画の受付が終了し、普通区画も四月三十日には残り十五基となりました。また、特別区画は七十五基ありますので、有縁の方にご紹介のほどお願いいたします。

＊

建設懇志進納総額

二十一億五千三百四十二万五千三百九円（92％）

（96年4月30日現在）

敬弔

長岡ちかさん（ながおか・ちか＝姫路西組西誓寺前坊守）四月十三日、七十八才で往生。葬儀は四月十五日、西誓寺で。「光蓮院釋尼澄静」。

小松たつ子さん（こまつ・たつこ＝播磨中組浄福寺坊守）四月二十一日、八十四才で往生。葬儀は四月二十四日、浄福寺で。「慈光院釋尼芳英」。

寺島ふさゑさん（てらしま・ふさえ＝加古川組金正寺前坊守）四月三十日、九十三才で往生。葬儀は五月二日、金正寺で。「淨源院釋尼房枝」。

藤山和基師（ふじやま・かずき＝神戸東組西方寺住職）四月三十日、五十四才で往生。葬儀は五月三日、西方寺で。「真脳院釋和基」。平成元年から住職在職七年。その間、平成六年から教区会議員現職。

仏婦結成10周年

神明組が別院で大会

シンポジウムで「私のダーナ活動」

神明組（大岡周賢組長）では、去る四月二十九日に神明組仏教婦人会連盟結成十周年記念大会を別院にて開催し、三百三十二人の会員（住職・寺族・総代を含めると四百人程）が参加して開催した。

当初は昨年開催の予定で計画が進められていたが、阪神・淡路大震災により延期されていた。

当日は結成五周年の時にもご臨席を賜った仏婦総連盟名誉総裁である大谷嬉子さまをお迎えをすることとなっていたが、体調不良のためご欠席となったが、文書で祝辞をいただき、出口総務のご臨席となった。

午前の記念式典では献灯・献華・献香のあと代表焼香、らいはいのうたをおつとめし、大岡周賢組長・木村久子仏婦会長あいさつ、来賓祝辞・紹介があり、組仏婦の十年間のあゆみが紹介された。また、十年表彰があり恩徳讃で閉会した。

シンポジウムの様子

午後には記念講演として仏婦総連盟講師の桜井瑞彦師より『いのちの鼓動を聞く』をテーマに「結成十周年は、時代と人間を見すえて、一つの脱皮をしていくよい機会です」と述べ次の六項目にそって話された。①幸せってほんとうですか②ディズニーランド宗教真っ盛り③悲しさを越える④宗教感性のアンテナを⑤仏教婦人へのメッセージ⑥仏教婦人の〝われら〟ワーク。

続いてシンポジウムに入り、テーマ『私のダーナ活動』－大震災をふまえて－として司会に藤波加代子さん、助言は桜井講師、パネラーに住職代表宮里哲秀師、坊守代表松本晴美さん、会員代表竹内順子さん・小西千津子さんによって進められ、活発に意見交換もされた。

仏婦会長の木村久子さんは「天候にも恵まれ、新しい別院で組が一致協力してこの大会を大盛会のうちに終えたことは感慨無量です。また、組として初めてシンポジュウムをもってダーナ活動について話し合い、大震災でも私のできるところから始めたことが組へ広がっていったことも大きな成果でした」と感想を述べた。

被災寺院その後

アンケート報告書から

教区内被災寺院二百六十七カ寺に対して、今年一月に寺院復興状況中間調査のアンケートを実施し、その回答は二百四十カ寺で89％の回収率でありました。

その災害対策現地本部からの中間報告書から一部を抜粋してご報告いたします。

(1)被災前と現在の門信徒の増減（転出）及び収入

今回の調査で激甚被災組では転出門徒18％、寺院収入30％減収という結果がでてまいりました。中でも神戸東組・神戸中組・神戸湊組・神戸西組の四組につきましては転出門信徒26％、寺院収入は41％減という結果でありました。寺院の所在地によって大きな違いがあることが明かになると同時に毎日大変な生活の中で復興に向けて努力されていることが伺われます。

(2)寺院の復興状況

本堂竣工1、仮本堂建設済13、本堂着工21、修復完了72であります。修復完了寺院は激甚被災組以外の寺院であります。二百三カ寺のうち百七カ寺が復興を推進されておられますが、残りの九十六カ寺（47％）については現在復興にかかることのできない寺院と言えます。その主な理由につきましては、門信徒の被害がひどく、門徒の復興がある程度終わるのを待って、復興に入りたいというのが大半をしめています。

また、区画整理地区で門徒の復興計画が立たない。檀家の90％が離散（東灘区魚崎周辺）。資金計画が立たない。建築に反対する者がいるなど復興資金に関することが明らかになりました。

(3)本山復興資金貸付制度

現在40カ寺から6億円近くの貸付を受けており、若干の重複はありますが、融資希望額は49カ寺から20億円余の希望額が提示されています。また、返済については20年・25年という返済期間が圧倒的に多くなっています。

(4)特別助成金交付の希望

それだけ門信徒に迷惑をかけなくてすみ、今回思い切った助成をすれば寺院・門信徒の励みになり、教団に対して今後二倍・三倍の大きな力となって返ってくるものと思いますという意見が多々ありました。復興経費の割合での助成率を聞きますと一割から五割まで と様々でした。

(5)賦課金の減免

全体では全額免除希望44％、半額減免希望14％、不要16％、無回答26％となりますが、激甚被災組では全額51％、半額11％で、期間は二年から四年が30％、五年が43％、10年が18％となっております。

なお、30カ寺から賦課金・教区費減額・全免不要のご回答をいただき、心強いことです。

(6)大蔵省の復興指定寄付金の適用

手続きが困難と聞いてはいるが是非復興が決まれば適用を受けたいと考えている寺院が32カ寺あります。

すでに四カ寺が手続きを終え、阪神東組専正寺は認可を得、他の三カ寺は審査中です。

(7)その他では意見要望をたくさんいただいております。

HO日誌

◆4月2日＝法要参拝部会小会議を別院で◆2日～3日＝輪番・主管・教区基幹運動推進委員会会長（教務所長）研修会が本山で◆3日～6日＝教区相談員中央研修会が本願寺習礼教修所で◆4日＝第七回宗勢基本調査実施センターより被災寺院に対する予備調査を実施◆門推新旧幹事会を別院で◆連研推進委員会を別院で。第九期連研修了者大会、連研のための研究会について◆5日＝大阪教区豊島北組仏婦が別院に団体参拝◆大篭歩さん・小島恵子さんの仏前結婚式が別院で。司婚は前総務の武野以徳師◆第一土曜仏教講座を別院で。講師は別院本堂のご本尊のご修復とホール東面のご本尊を彫刻された江里康慧師（仏師・龍谷大学短期大学部非常勤講師）テーマは「仏像彫刻に従って」◆6日＝被災地における花まつりが阪神東組源正寺で◆7日＝被災地における花まつりが神戸中組信徳寺で◆8日＝法要総務部会を別院で◆法要準備委員会を別院で◆9日＝長島愛生園真宗同朋会から大谷本廟に納骨、本山参拝に担当者引率◆三隅町親鸞聖人鑽仰会（代表山口教区大津東組極楽寺）から別院に団体参拝◆10日＝成徳学園入学式に土基教務所長が出席◆須磨ノ浦女子高校入学式に勝島賛事が出席◆11日＝第三ブロック布教団担当者会議並びに青年布教使代表者会議が名古屋別院で◆災害対策常任委員会を別院で◆少年連盟役員会を別院で◆13日＝全国講社大会が本願寺会館で◆第七回宗勢基本調査協議会が本山で。土基教務所長が出席◆神明組西明寺門徒総代中井俊作氏弔慰状伝達に北村賛事が参列◆14日＝神戸別院永代経開闕法要◆仏青連盟委員会を別院で。役員改選であったが委員長別所麻美さんが再任◆15日＝山陰教区鹿足組丸立寺から別院に団体参拝◆15日～16日＝別院常例法座。講師は岡本幸信師（神戸中組極楽寺）◆16日～17日＝教区基幹運動推進委員会連研担当部会代表者会が本山で◆17日＝青年僧侶の会役員会を別院で◆18日＝法要法式部会長副部会長会を別院で◆基本法制定要求第三期二十三波中央行動が東京の憲政記念館で◆19日＝仏婦総連盟総会が本願寺会館で◆門徒総代四役会を別院で◆20日＝鹿児島別院仏婦が別院に団体参拝◆大震災で全壊した神戸東組照光寺が上棟式。土基教務所長が参列◆20日～21日＝近畿ブロック仏青連盟連絡協議会、青年教化連絡協議会が滋賀県のホテル琵琶湖プラザで◆21日＝門徒推進員連絡協議会総会並びに第二十三回研修会を別院で。総会では役員改選で会長の桑田勇氏が再任。研修会講師は土基教務所長。講題は『お念仏申す人生』活動報告を阪神東組門徒推進連絡協議会幹事の西田瑛子さんから発表◆21日＝岡山南組西方寺から別院に団体参拝◆22日＝教区災害対策委員会を別院で◆少年連盟総会を別院で。新委員長に藤井章乗師（宍粟組願寿寺）が選出◆23日＝常備会を別院で◆基推委企画常任委員会を別院で。委員構成を検討◆24日＝法要参拝部会・法要財務部会・法要法式部会を別院で◆青年僧侶の会役員会を別院で◆24日～27日＝専従員中央研修会が本願寺習礼教修所で◆25日＝近畿仏婦第十回恵信尼さま顕彰平和の日の集いが本願寺会館で。兵庫教区担当で開催。テーマは『復興と平和』近畿ブロック各地より五百九十八人が参加。講演①には神戸新聞社会部記者の磯辺康子さん。講題は『大震災と報道－取材の一線から』。講演②では仏婦総連盟講師の都呂須孝文師から『平和を願う』の講題で講演◆29日＝神明組仏婦結成十周年大会が別院で（二面に別記）◆30日＝ビハーラ兵庫役員会を別院で。

上棟式の神戸東組　照光寺

少年委員長に藤井章乗師

仏青・門推代表は再任

別院・教務所の職務分担が一部変更

平成八年四月から神戸別院・兵庫教区教務所の職務分担が一部変更しましたのでお知らせします。

▽輪番・所長・基推委委員長＝土基謙教

▽教区相談員、基推委主幹、企画常任委員会、基推委委員長会、組相談員会議、教化組織連絡会、基推委教学・伝道推進委員会主任＝近藤龍樹

▽別院法務主任・教化業務主任、会役者＝勝島徹正

▽所長直接庶務、教区庶務事務主任、組巡教、豊岡教堂庶務、災害対策委員会・現地本部主任、都市開教、過疎対策＝赤松法雄　▽別院寺務主任、教化センター運営委員会主任＝北村昌康

▽教区専従員、基推委社会教化推進委員会主任、社推協、ビハーラ兵庫、布教団、門徒総代会、愛生園・光明園、蓮師法要団参＝安井秀顕

▽別院管理業務主任、別院会計、教化センター運営会計＝菅野弘和

▽教区専従員、基推委連研推進委員会主任、基推委組織教化推進委員会主任、研修指導部会、門徒推進員、仏青、少年、寺院子弟、スカウト、保育、矯正教化、図書会計＝竹内英昭

▽教区専従員、基推委同朋運動推進委員会主任、同朋講師研修会、同朋講座、近同推、同兵宗連部会、寺婦、仏婦、仏壮＝尾井秀瑛

▽願記賦課手続き事務、参与会、テレホン法話、青僧会＝高藤昭文

▽教区会計、講社、共済事務、江並教堂庶務＝松濤了忍

▽教区専従員、広報部会、視聴覚ライブラリー＝岡崎信明

▽別院法務・庶務、講演会、視聴覚業務＝長尾真

▽別院法務＝小野崇暁

▽別院法務＝山内理史

▽教化団体会計、収状・出状＝山崎泉

▽前受け・案内、収状・出状＝釋氏真帆

▽用度・環境美化＝泉井美栄子

尚、災害対策現地本部専従コーディネーターは副高朗。また、別院・センター総合復興計画、完成記念慶讃法要については全職員が分担。